

たわけですが、ここに至るまでの苦勞は並大抵のものではなかつたらうと推察をいたします。ある意味では、私、いろいろな立場の方が出ていらつしやるこの会が、地域の民主主義の度合い（民度）を量る会と言っても差し支えないのではというほど大きく期待をしております。どうか、先行き、空中分解などしないように、本来の価値を十分に発揮していただきたい。

この会をつくろう、こういう会があつたらという話のきつかけは、昨年の夏、私と西川市長さんと相前後して、ベルギー、フランスを訪問した際に、いただいた資料を中に公的な裏づけのあるローカル・インフォメーション・コミッションという地域の会のようなものに目が止まりました。日本にはこういうものはないので、その後、市長さんとお話をする中で、こんなものがあつたらいいですねという話から膨らんで、西山町長さんにもお話をし、この会ができるきつかけの一つになつたわけです。

今日は、電気の問題、防衛の問題、安全確保の問題など、さ



まざまな観点から意見が出たわけですが、こういう議論を通じて物事を解決し、物事を前に進めていくということが大事であり、その意味では、24人の委員の皆様方から、まざまな問題についてよくご理解をいただくことが、この会の目的といつてもいいのではと思ひました。どうか議論を重ねていく中で、価値ある活動ができますよう、行政としても精いっぱいご支援を申し上げたい、そんなことをお話しさせていただき、本日ご参集の御礼にかえさせていただきます。大変ありがとうございます。

## 発電所の現況視察を実施しました

去る6月1日（日）と2日（月）、委員による発電所の視察が行われました。

視察スケジュールは次のとおりです。

- ① サービスホール（3次元シアターと展示館で発電所の概要と視察する個所の確認）
- ② 視察前ホールボディカウンター（体内の放射線量を測定するもの。シユラウド補修現場では放射性物質を含んだ水を扱っているため、念のため、視察の前後で体内の放射線量を比較します）
- ③ 7号機原子炉格納容器漏えい率検査状況（中央制御室と現場の計器や弁の封印状況など検査の準備状況を確認しました）
- ④ 3号機シユラウド補修現場（補修方法の確認と補修後の状態をモニターで確認しました）
- ⑤ 3号機原子炉再循環系配管（再循環ポンプと配管がどんな物か確認しました）

⑥ 視察後のホールボディカウンター

⑦ 質疑応答

なお、質疑応答後、委員から1号機原子炉建屋の地下5階（最下層）の壁に地下水が進入しているとの情報があるため、状況を見たいとの申し入れがありましたので、希望者で視察しました。

**■ 視察現場に関連する質疑応答は次のとおりです。**

**Q** （漏えい率試験）  
6・7号機は鉄筋コンクリート製格納容器だが、鋼板は



鉄筋コンクリート製格納容器の模型